

美しい都市景観をつくりあげるために

このたび、東京の景観形成を総合的、計画的に推進するために「東京都都市景観マスタープラン」を策定しました。このマスタープランは、都及び区市町村が都民の皆様並びに民間事業者の皆様とともに、景観に配慮したまちづくりをすすめていくための指針となるものです。

快適な都市空間の整備は、生活の質の向上につながります。真に豊かさを感じることができるまちづくりには、物の豊かさだけではなく、美しさ、ゆとりやうるおい、やすらぎ、更には人と人との暖かいふれあいなどが強く求められています。そして都市景観もその重要な構成要素です。

私たちは、先人から受け継いだ良好な自然環境を保全し、江戸東京の歴史や文化を伝える景観を現代に生かすとともに、活力に満ちた都市の発展にあわせて、世界都市にふさわしい、美しくうるおいのある都市景観を創造していかなければならないと考えます。しかし、これは、一朝一夕にできるものではありません。長い時間と多くの人々の力が必要です。

私たちの東京を自信を持って次代に引き継ぐために、美しくうるおいのある都市景観を一緒につくりあげていこうではありませんか。都民並びに事業者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



遠景としての富士山（新宿区から）

景観形成の枠組み

景観形成の三つの目標

- 1 自然をとりもどす
- 2 歴史と文化を伝える
- 3 多様な魅力を発展させる

目標達成のための10の指針

景観形成基本方針

景観ゾーン

- ・面的な景観要素
- ・大きな景観要素

8つのゾーン

景観基本軸

- ・線的な景観要素
- ・骨格的な景観要素

11の景観基本軸

景観拠点

- ・点的な景観要素
- ・各所にある景観要素

大規模開発
歴史的建造物
公共施設など

景観形成地区

重点的に景観形成をすすめていく地区

景観形成を積極的に、また効果的にすすめるため、景観形成のモデルとして特に重点的に景観形成をすすめる地区として景観形成地区を定めます。マスタープランでは、その候補地を例示しています。今後、区市町村はこれらを参考にして「区市町村景観マスタープラン」の中で、景観形成地区を指定し、景観形成をはかっていくこととなります。